

おかわり
ありませんか？

第74号

令和6年 10月10日発行

ごかせ

議会です！



おいしいぶどうはいかがう



町内の小学4年生が高千穂
がまだせ市場でぶどう販売。

写真提供：4年生 G 授業担当

ホームページはこちら▼

<http://www.town.gokase.miyazaki.jp/kakuk/gikai/index.html>



ポチッ
としてみらんの

令和6年 第3回 五ヶ瀬町議会定例会補正予算

令和6年度一般会計補正予算は1億8,350万円を増額し

総額

64億9,250万円

第3回定例会は、9月3日に開会し、9月20日までの18日間の日程で行われました。

令和6年度一般会計補正予算（第2号） 主な内容は次の通りです。

【主な内容】

事業名	事業費	事業内容
新型コロナワクチン接種事業	925万円	新型コロナワクチン接種にかかる委託料
〃	23万円	新型コロナワクチン接種にかかる費用助成費
県単営農飲雑用水施設整備工事	8,054万円	原目地区水道工事 ほか
施設整備工事	434万円	木地屋源泉ポンプ
施設改修工事	2,540万円	スキー場パーキングセンター空調設備
五ヶ瀬町母牛安定確保対策事業補助金	792万円	母牛1頭あたり16,000円×495頭
体育館修繕工事	320万円	五ヶ瀬中学校体育館雨漏り修繕工事
施設改修工事	62万円	Gドーム事務室エアコン整備
特用林産物生産体制強化事業	137万円	しいたけ等特用林産物生産体制強化事業補助金
開通式負担金	70万円	竹田・五ヶ瀬線 土生工区開通式負担金（追加）

同意 人事案件 3件

五ヶ瀬町教育長	津 ^{つな} 木 ^ぎ 考 ^{たか} 嗣 ^し 氏	3年間	（えびの市立飯野小学校教頭）
五ヶ瀬町監査委員	後 ^ご 藤 ^{とう} 栄 ^{さかえ} 氏	4年間	（五ヶ瀬町桑野内）
五ヶ瀬町教育委員	曾 ^そ 我 ^か 部 ^べ 里 ^{さとみ} 美 ^み 氏	4年間	（五ヶ瀬町鞍岡）

採 択

総務農林常任委員会の付託された以下の案件について、9月3日に委員会を開き、審議した結果採択と決定しました。

・商工業の振興及び地域経済の活性化に関する要望書

五ヶ瀬町商工会会長 曾我部謙造 氏

令和6年9月10日から17日にかけて本委員会を開催し、付託された各議案の会計決算について慎重に審査を行いました。

その結果、令和5年度の会計決算は、議案第57号から議案第63号までの全てについて、次に述べる審査意見を付して認定すべきと決定しました。

(審査意見)

令和5年度の一般会計決算は、令和4年災に伴う災害復旧事業の本格化や、ふるさと応援寄付金の大幅な増加、五ヶ瀬町国民健康保険病院の再編統合に伴う病院事業会計繰出金の増加などにより、歳入歳出ともに前年度を上回り、歳入59億6,937万円で15.4%増。歳出56億7,362万円で15.7%の増となった。

総務課所管

住宅建設については、現在2戸建設中であるが、今後も移住定住対策の一環として地域性も考慮し、計画的に進められたい。

住宅使用料の未納額が過年度分を含めて190万を超えている。早期の徴収の対策に努められたい。



広木野に建設中の住宅

町民課所管

町税の徴収については、徴収努力の成果が見られ国民健康保険税を含む滞納繰越が1,402万円で前年比16%減少している。公益性や公平性を保つ観点からも、各機関と連携して一層の徴収対策に努められたい。また、現年発生させないことが重要であることから適切な管理運営を望む。



企画課所管

道の駅整備については、慎重な調査の上、地域に根差している特産センターの現状を踏まえ、特色を活かした整備に期待する。

移住定住対策については、住居の確保等の課題も多い。積極的な事業を展開し更なる五ヶ瀬の魅力発信に努められたい。

婚活イベントについては、出会いの場の創出に大きな役割を果たすと考え、引き続き事業の継続を望む。

特定地域づくり事業協同組合については、各事業所の人手不足の解消や移住の面からも期待が持てる。積極的な事業の推進を望む。

ふるさと応援寄付金については、前年を大きく上回り3億1,000万円を超える結果となった。更なる事業の拡充に努められたい。



整備が進む特産センター前駐車場

農林課所管

スマート農業については、今後の本町農業の大きな柱として、地域に即した新しい農業を実現するために積極的な取り組みを望む。

森林環境譲与税は17の事業に8,200万円が活用された。今後も林業発展のために積極的また有意義に活用されたい。

新規農業者支援制度については、農業を志す者にとって貴重な制度である。新規作物の導入などにより持続可能な農業の展開が期待される。畜産農家への補助金は、高騰する飼料代への支援を新たに行ったが、依然として子牛価格の下落が続く生産者は厳しい経営を強いられる。積極的に生産者との協議を重ね、早期に必要な施策や対応策の検討を望む。



子牛セリ市の様子

福祉課所管

介護保険事業については、介護認定率や介護保険料は共に低く推移している。今後も介護予防等の推進などにより、適正な介護保険事業が展開されることを望む。

こども医療費については、令和5年度より0歳から中学校卒業まで医療費が無償化された。今後も子育て支援の重要な施策として高校生までの拡充を望む。

高齢者の見守り事業として、7項目の事業を行っている。特に配食サービス事業は今後需要も伸びてくると思われる。委託先と十分協議を重ね今後も円滑な事業継続に努められたい。

建設課所管

一般土木については今後も住民の安全、安心を優先的に事業の推進に努められたい。

令和4年災及び令和5年災の進捗率は完成が44%、施工中が21%で、まだ未発注の箇所も39箇所ある。建設業を取り巻く環境は作業員の減少や高齢化など年々厳しくなっているが、町民は早急な復旧を待ち望んでいる。極力期限内の復旧に努められたい。

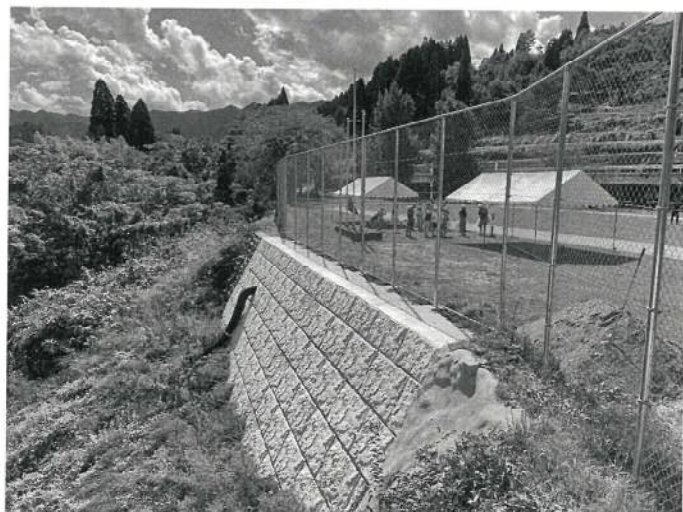
簡易水道特別会計については、現年分の未納額に加え過年度分も残っていることから、早期の徴収対策を望む。

教育委員会所管

学校管理費について、学校の施設は未来を担う児童生徒教育の大変重要な場であることから、要望に対してはきめ細やかな配慮を望む。

へき地教員住宅管理費については、修繕等の要望に十分対応できるよう検討し、住宅環境の整備に努められたい。

令和9年に開催される宮崎国スポの会場となるGパークにおいては、本町での競技が成功裏に終わるよう視察等を通して万全な準備を望む。また施設等の改修についても計画的に進められたい。



坂本小フェンス

決算審査特別委員会 現地審査報告

決算審査特別委員会において審査が行われた決算について、9月17日、現地調査を行いました。



高性能林業機械等整備事業補助金
(グラップル付きバックホー)



県単独土地改良事業
魅力あるふるさと環境づくり事業
(大平地区営農飲雑用水施設整備)



社会資本整備交付金事業 災害防除工事
歩道改良工事 (赤谷・小学校線)



道路メンテナンス事業橋梁補修工事
(坂狩・荒谷線 荒谷橋)



社会資本整備総合交付金事業
空き家活用改修工事
(広木野)



忠霊塔移転慰霊碑設置補助金
(Gドーム敷地内)

総括質疑

令和5年度の一般会計決算及び特別会計決算の総括質疑が行われました。
各議員から11件の質疑がありました。主なものについて掲載します。

ふるさとづくり事業費 1,820,000 円

問 事業の内容は、どんなものが行われたか。また町長が今後この事業に対してどんな期待をしているのか。

答 ふるさとづくり基金を財源に、町民自ら企画する地域活性化の研修会等に補助金を交付している。

令和5年度は、新得町交流事業1件に交付。町づくりは人づくりであるので、今後とも多くの方への取り組みを利用してもらい研修等々行って頂きたい。

婚活事業委託料 1,081,586 円

問 婚活イベントの参加人数や内容は、また今後の考えは。

答 参加人数は男性が17名、女性が14名。内容は、結婚を希望する男女に対して、きっかけづくりの支援を行うことで、少子化の要因である未婚化晩婚化の対策としてイベントを開催している。

今後は、例えば熊本、延岡の婚活イベントの参加料の補助とか、県の婚活会員費用の補助や町内での婚活のためのパーティー開催の一般の方への費用負担等、色んな取り組みを強化していきたい。

DX推進委託料 8,250,000 円

問 コンピューター管理費 DX推進委託料の委託先と委託内容は。

答 委託先はRKK コンピューターCS。委託内容は、国が進めているシステムの統一化に関する業務委託である。

福祉センター屋根改修工事 19,783,878 円

問 当初予算では一部改修と説明を受けていたが、完全に修復できたのか。

答 現状では雨漏り等の報告はない。

有価証券株券 △249,727,000 円

問 減額の内訳を伺う。

答 株五ヶ瀬ハイランドの資本金減資による2億5千万と宮崎銀行株券購入の2万7千円である。

簡易水道使用料の収入未済額 1,058,850 円

問 昨年と比較して約5倍増えているが原因は何か。

答 令和6年度から公営企業会計に移行し令和6年3月31日に会計を締めていることから、前年よりも収入未済額が増えている。

賛否の分かれた議案

議案第57号 原案可決

令和5年度五ヶ瀬町一般会計歳入歳出決算の認定について

各議員の表決結果（○：賛成、●：反対、欠：欠席、一：議長は賛否に加わりません。）

賛否一覧	氏名	本 田 俊 徳	矢 野 宏	甲 斐 義 則	小 笠 原 将 太 郎	田 中 春 男	太 田 保 義	渡 邊 孝	甲 斐 政 國	佐 藤 成 志
	議案番号									
	議案第57号	○	○	○	●	○	○	○	○	一

木造住宅耐震診断事業補助金 390,000 円

問 診断をされた件数は。また町民に対しての周知は行っているのか。

答 診断されたのは3戸。別に木造住宅耐震改修総合支援事業補助金を2戸に138万円を補助している。

ごかせ広報などで周知はしているが引き続き行っていきたい。

議会運営委員会審査報告（議会基本条例） 委員長 田中 春男

五ヶ瀬町基本条例第22条第1項において、「議会は1年毎に、この条例の目的が達成されているかどうかを、議会運営委員会において検討するもの」と規定されている事で、各議員が令和5年8月1日～令和6年7月31日の1年間の議会及び議員活動の評価検証を行いました。7回目の評価作業ではありますが、評価の指標のとらえ方については個人差が見られた部分も多々あり、今後、毎年評価作業を実施していく中で改善すべき部分の検討を行なってまいります。評価が2以下の結果となった、「議会図書室の設置及び公開」については、まず議員が利用する事や図書の充実を図る事、「政治倫理に関する条例の制定」については、議員の理解を深めることと合わせて、制定に向けて改めて取組んでまいります。

今回の評価の結果としましては、条例の見直しは必要なく、評価の低かった事項につきまして、議会活動・議員活動の更なる活性化を図ることが重要であると考えます。

令和6年 第3回五ヶ瀬町議会定例会議決結果

種類	議案名	審査結果
報告	五ヶ瀬町の財政健全化判断比率について	報告のみ
報告	五ヶ瀬町公営企業の資金不足比率について	報告のみ
議案	五ヶ瀬町教育長の任命同意について	同意
議案	五ヶ瀬町監査委員の選任同意について	同意
議案	五ヶ瀬町教育委員会委員の任命同意について	同意
議案	令和5年度五ヶ瀬町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案	令和5年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案	令和5年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案	令和5年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計決算の認定について	認定
議案	令和5年度五ヶ瀬町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案	令和5年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案	令和5年度五ヶ瀬町奨学金特別会計歳入歳出決算の認定について	認定

種類	議案名	審査結果
議案	五ヶ瀬町職員等の旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町簡易水道事業会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案	令和6年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案	工事請負契約の締結について（波埴川 河川災害復旧工事）	原案可決
議案	工事請負契約の締結について（笹の越川 河川災害復旧工事）	原案可決
議案	工事請負契約の締結について（波埴川 河川災害復旧工事）	原案可決
発議	五ヶ瀬町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決
発議	議員派遣について	原案可決



おた やすよし
太田保義議員

町道白滝線の整備について

白滝は五ヶ瀬町の観光資源として貴重なものである。そこに至る町道の整備状況は十分とは言えない。紅葉の時期は特に綺麗であり、九州島発祥の地、五ヶ瀬町の雄大な自然の森羅万象の中で生きる住民として、それなりの畏敬の念で接するべきであると考え。通行の安全を確保するために整備すべきではないか。

町長

町道に平成五年三月に認定され、延長が二千四十三、二メートル、幅員一・六メートルから五・三メートル、舗装率は百％、最小半径が五メートル、最大勾配が二十五％の状況です。苦情が多かったこともたくさんあったことも承知しています。

そうした中でこれまで他の生活路線を優先して整備をしたこともあり、予算の関係もあってその様な状況になったということだったと思います。

令和三年度に町道白滝線の道路概略検討業務として委託をし、四年度におきまして起点側の地形測量を実施しました。

今後またあの地点の上には民有林、県有林、県構造林があつて今後伐採時期を迎えるということもあれば、町道では構造法令上厳しいと、金がかかるということですので、林道に編入して国庫補助、地方創生道整備交付金で整備ができないかと検討を開始しています。

早ければ来年度から道路整備交付金の新規五カ年計画の更新の年でありますので、次期計画に盛り込めないかという計画をしているところです。

建設課長

令和七年度が地方創生道整備推進交付金事業の五カ年計画の更新の年でありますので、次期計画に、この白滝線のほうを盛り込む計画であります。

また随時、道路パトロールとか台風時による災害復旧等は適宜対応しています。



白滝



白滝に通じる道路

ハラスメントの状況について



かい よしのり
甲斐義則議員

町本町役場内及び役場関係職場病院、学校を含め、その他いくつかの職場があるが、その職場においてのハラスメントの状況について伺う。

町長

法により事業主に求められる必要な防止措置として、事業主の方針の明確化及びその周知啓発、相談や苦情に適切に対応するための整備、職場におけるハラスメントへの事後の迅速かつ適正な対応、これらに講ずるべき措置となっており、これらの法律に基づき対応を行っている。

問 本町としての対応を伺う。

総務課長

職場におけるハラスメントの防止に関する要項を、今年度4月1日から施行、委員会及び相談窓口の設置、苦情・相談の処理方法並びに加害者への対応方法を規定している。人事評価制度による職場の不安や悩み、メンタルを含め健康面について意見交換会を実施している。

問 ハラスメントに対するアンケート等の調査を行う考えはないか伺う。

総務課長

ストレスチェックの中で、上司・同僚・部下等の項目があり、情報は人事部局で把握している。

学校給食について

問 今後の学校給食調理師正規職員の配置について伺う。

教育長

各学校に正規職員を1名、三ヶ瀬小学校と五ヶ瀬中学校に会計年度任用職員をそれぞれ1名配置している。行財政改革の取組として新たな採用は行わない。

問 仮に来年度、正規職員が退職された場合の会計年度任用職員の配置について伺う。

町長

人事の配置については、管理運営事項で、どうするかということは今から検討していくことなので、なかなか想定事項には答えにくいところである。

問 会計年度任用職員1名で行う職務の場合、調理師資格の有無について伺う。

教育次長

無資格の方というところでは、最終的に安心、安全な給食の提供ができないといけない、今後の状況も踏まえて、新たな方向性をしっかりと決めていきたい。

農業振興について

問 2年間の農業振興及び畜産振興への成果と今後の取組について伺う。

町長

成果というべきものは本当に難しいと感じている。農家の頑張りにより成果が出ているもの、関係機関も含めた支援により、成果が出るものがあると考えている。2年間の取組について、園芸・果樹では、戸の口集荷場から高千穂までの運賃の支援、台風・豪雨等のセーフティネットと対応しての収入保険の掛け金の支援、地域おこし協力隊による新たな視点でお茶のPR・振興を図る取組、畜産では、母牛1頭に対する支援金、飼料機械の導入支援では補助率を4分の1から3分の1にかさ上げ、令和6年度については、牛に対する予防接種の3分の1を補助する新規事業にも取組んでいる。



ほんだ としのり
本田俊徳議員

五ヶ瀬ワイナリー内にあるRVパークの稼働状況及び活用法について

町長

RVパークの、稼働状況についてお答えいたします。令和5年度が利用台数49台、令和6年度は8月までで、38台となっている。設置箇所は、2台分。

町のホームページや観光協会のSNS等で積極的に周知を図っていききたいと考えている。

ワイナリーとの連携を図りながら、ワイン館や雲の上のぶどうの収益増につながる取組についても、今後、検討していきたいと考えている。

問施設のホールの流し台に夜間の照明設備がない。備え付けたほうがいいのではと思うが、またコインシャワーの設置の考えはないのか。

町長

早く分かっていたら、現場を指導していただくと対応ができたのかなという思いがする。

シャワーについては、現時点では考えていない。ほぼ1泊、施設の利用がお分りになって、来られるので、シャワーの投資ということは現時点では考えていない。

問ライダー用の持込みキャンプができる区画もつくってみてはどうか。

町長

聞いた雰囲気だと、御提案の内容はいいのかなと思う、今後の課題として、検討の中で含めてお願いしたいと思っている。

問PR方法について、なかなか分かりづらいので、検索しやすいように方法を考えては。

町長

御指導いただいて、さらなるPRができるようにしたいと思う。

五ヶ瀬町の観光について

問昨年6月の一般質問で、「五ヶ瀬町内の滝を観光につなげてほしい」と質問した。町長の答弁は、「資源を調査しながらそれぞれの滝の活用法を議論したい」とのことであったが、その後、どうなっているのか。

町長

滝ツアーということ、一つの滝という、五ヶ瀬町内というよりも、我々も矢部のほう、山都のほうに行くとか滝の案内書が出たりして、そういうことと滝と似通っている滝もあるということでしたので、例えば山都の聖滝だったとか、うのこの滝と似ているという、そういった情報を組み合わせて、山都町とも話をしたり、今後は観光協会のホームページでさらに滝をイメージして、滝どうしを連携させるようなところが必要たりするのかなとも思ったところ。

よって、今現在、きちんとこのような活用法でどうかということではない。



おがさわら まさたろう
小笠原将太郎議員

英会話能力の向上について

問幼児期より会話に重点を置いた体験型の学習プログラムについて伺う。

教育長

小・中学校における外国語活動については、語彙や文法の個別の知識がどれだけの身についたかを評価することに主眼を置くものではなく、会話を重点に置いた学びの充実が求められ、会話という体験を通じた学びは、教育委員会としても重要であると考えている。幼児期は、コミュニケーションの基礎を身につける入門期で、日本語を含めコミュニケーションの素地を育み、外国に親しみながら体験的に触れる機会、一定程度の教育的意義はあると考える。福祉課とも相談をしながら、幼児の外国語に慣れ親しむ体験等について考えたい。

問中学卒業時には日常英会話ができるようにしてはどうか。

教育長

佐伯勝元教育基金海外派遣事業を実施し、本年度も12名の中学生が台湾で研修を行い、英語を使つての異文化交流は、貴重な体験となった。

教科指導において育まれる英語の話す、聞く、書く、読むといった力を使つてみたい、意見を交流させてみたいという、異文化に関わろうとする意識を高める手だてが必要だ。本町教育の特色である豊かな体験活動とも関連させ、コミュニケーションスキルの向上を図ることが必要です。例えば、ふるさとを誇りに思い発信するという活動の中で、伝える対象を日本人だけではなく、

インバウンド時代を踏まえ外国人も対象に含んだ取組をできるのではないかと考えています。

第3セクターの経営について

問県が公表している第3セクター等の資料から厳しい状況が伺えるが、社長である町長はどのような考えか伺う。

町長

大変厳しい状況だと思います。コロナ禍の影響が観光部門では大きく、特にスキー場の営業休止が大きな要因として数値に出ている。

問立候補のとき、第3セクターの抜本的経営改革「経営不振の究明」と表明されたが、現在はどうのような考えか。

町長

抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な指示をします。

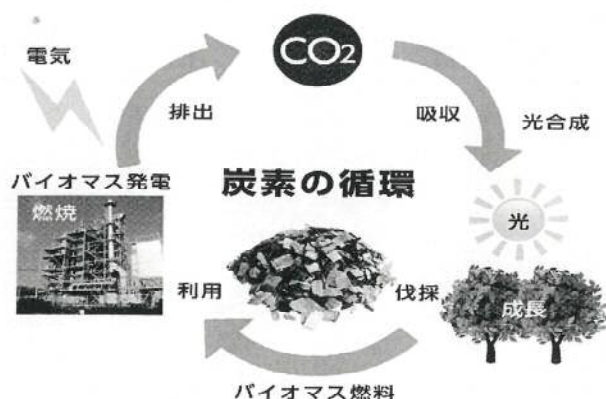
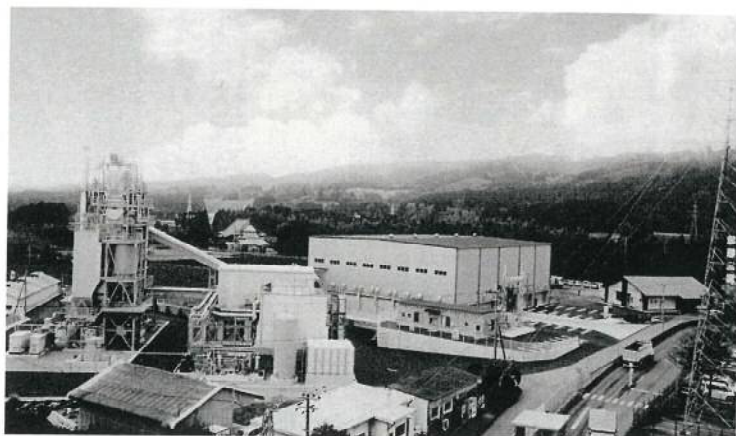
問納税者である町民、国民に対しての丁寧な説明が不可欠だと思われる。あと何年すれば赤字から黒字に転換するのか、その時期を伺う。

町長

会社の経営なので話しにくい。関係者を含めて計画を持ってやる。これまでの経営の中で赤字を積み上げてきたのが問題だ、そこをきちんと見ないと手の打ちようがない。今後の計画は、まず議員に示して、御理解いただき行財政委員会ですべての数値をもとに議論したいと思う。

(株)宮崎森林発電所視察(バイオマス発電) 川南町

令和6年7月3日



環境にやさしい木質発電所の視察を行いました。
20年前に鶏ふんの利用からスタートされ、現在は
一日に200トンの山林未利用材から5750kwh発
電してます。普通世帯1万世帯分に相当するそう
です。五ヶ瀬からも森林組合前のFCP中間工場貯
木場を経由し、木材が搬入されています。
「いつも御協力頂き、ありがとうございます。
次世代に良い環境を引き継ぐために、これから

も山林未利用材のご提供をお願い致します。」
とメッセージも頂きました。

異常気象や地球温暖化防止の為に、身近
にある森林資源が役に立っていることを感じ
ました。自然の力を有効に使うことの重要性
に気づくことができた研修視察となりました。

(小笠原将太郎)

皆さんの意見を聞かせて下さい

議会報告会開催のお知らせ

五ヶ瀬町議会では、令和6年議会報告会
を下記の日程で開催します。

ご多忙な時期とは思いますが、ご出席い
ただきご意見をお聞かせください。

※対象行政区を設けておりますが、全会場
どなたでもご参加いただけます。

日付 11月5日(火)
場所 桑野内生活改善センター
時間 19:00～20:30
対象行政区 6・7・8区

日付 11月6日(水)
場所 役場3階 議場
時間 19:00～20:30
対象行政区 2・3・4・5区

日付 11月7日(木)
場所 荒踊の館
時間 19:00～20:30
対象行政区 1区

日付 11月8日(金)
場所 鞍岡地区複合型交流施設
時間 19:00～20:30
対象行政区 9・10・11・12・13・14区

9月25日に諸塚村中央公民館にお
いて、国会議員や県議、五ヶ瀬町・
諸塚村の関係者や住民が出席し、整
備促進総決起大会が開催されました。
決起大会には168名が出席し、
国道503号の整備促進や飯干バイ
パスの早期完成など3つの要望を含
む決議文を採択し、がんばろうコー
ルで士気を高めました。

また、国交省九州地方整備局の延
岡河川国道事務所の島川所長より九
州中央自動車道の工事進捗状況と国
道503号の現状の説明がありました。
五ヶ瀬町議会としても、飯干バ
イパスの早期完成を図るため積極的
に活動してまいります。



飯干バイパスの早期完成を目指し諸塚で整備促進総決起大会

五ヶ瀬町の現状を認識してもらい、困窮している実情を訴えることにより、対策を行ってもらう事を目的として、東京の各省庁に要望活動を行いました。

総務省・林野庁に、冬季の厳しい生活環境に対する支援。スキー場再開に向けた支援。消防団の担い手に対する支援及び操法大会の見直し。

農林水産省に、中山間地域等直接支払い制度の拡充・継続。畜産農家の経営安定に向けて助成金の拡充。森林整備や基盤整備を図るための予算の十分な確保。

厚生労働省・文部科学省・国土交通省に、医療・給食費の完全無償化・出産費用、乳幼児健診にかかる費用の助成。高齢者が安心して年金生活が送れる対策。国土交通省に、令和7年度予算について、所要額の満額確保・本路線への予算の重点配分。（蘇陽～五ヶ瀬道路）（五ヶ瀬～高千穂道路）（高千穂～雲海橋道路）の事業促進。

国土交通省・厚生労働省に国道503号（飯干バイパス）の早期開通。激甚災害の工期を5年に延長することと、労働者の安定的な確保に対する支援。砂防堰堤の堆砂除去及び河道掘削への支援。以上の要望を各省庁に行い、前向きな回答を得られました。

要望活動は、地道に行うことで中山間地域の現状を各省庁の関係者に知ってもらうことができ、少しでも五ヶ瀬町に対する支援が期待できるものと感じました。町民の皆様には、今後も我々のこういった活動にご理解を頂き、ご協力を願えればと思っています。



各省庁への要望活動

姉妹町・北海道新得町視察研修

令和6年7月23日（火）～24日（水）

太田保義

北海道新得町と五ヶ瀬町は、そば焼酎の醸造が縁となり、昭和63年6月10日、姉妹町の盟約が結ばれました。新得町は十勝の北西部に位置し、面積の大部分が大雪山国立公園を中心とする森林地帯です。人口は5,132人（2024年7月）基幹産業は、酪農、畑作、観光、林業などです。

2022年7月の酪農戸数は32戸 8,499頭、肉牛農家19戸 約24,000頭が飼育されています。

7月23日新得町役場にて意見交換会を実施。

新得町の主たる政策について

- ①ゼロカーボンシティ実現への取組 ②駅前周辺整備
- スマートIC・道の駅整備推進
- ③町民の利便性やサービスの充実に資するデジタル技術の活用推進。
- ・50ha以上の農家が40%であるが、人口減少に伴う人手不足は深刻である。
- ・道の駅構想があり令和12年には開設診療所の設置予定。
- ・新庁舎が7年1月には竣工する。
- ・小中学校の給食はセンター方式。
- ・水力発電ダムを有し138,000キロワット発電。



新得町議会との意見交換会

明日を駆ける！

橋本覚照さん 27歳
はしもと かくしろう



祖父が経営される社会福祉法人日融会福祉作業所日融工房の事務局長兼職業指導員をされています。九州大学法学部を卒業し、現在も九州医療科学大学通信教育学部に在学中です。帰郷前には、福岡で個別指導塾の塾長もされていたそうです。

奥さんと8か月になる娘さんの3人家族で、娘さんが可愛くてたまらないと言っておられました。料理をするのが好きで魚料理が得意だそうです。

7月27日には、夏祭りイベント「サンセットマルシェ〜日融においでよ」を開催し400人のお客さんが来場されたそうです。

「今までたくさんの人にお世話になり、ささえられてきました。これからも、利用していただける人のための福祉施設、地域のための福祉施設であることを念頭に置き頑張っていきます」と熱く語ってくださいました。

今後の展望として、まだどこにも例のない障害を持っておられる方と高齢者の方が一緒に利用できる施設を作りたいとのこと。

五ヶ瀬の福祉のために、これからのご活躍を期待いたします。

…… 地域の話 ……

憩いの広場完成！

内の口地区の地域資源を生かして、町内外からの観光客を呼び込むとともに、地域愛を図ることを目的に、「下の原棚田」入口に、しだれ桜を植え東屋と水汲み場(岩下の水)ができました。水汲みやホテルの観賞に来られた町内外の人が憩えるような場所になればいいとのこと。下の原棚田は棚田100選にも選ばれており、来年度以降にホテル観賞まつりの計画もされているそうです。



下の原棚田
しも はる



東屋



岩下の水
いわした

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は12月開会予定です。
傍聴の申し込みは、お気軽に
議会事務局にお尋ねください。
TEL82-1711(議会事務局直通)

発行責任者
議長 佐藤 成志
議会広報編集委員会
委員長 矢野 宏
副委員長 本田 俊徳
委員 太田 保義
委員 田中 春男
委員 小笠原 将太郎
委員 甲斐 義則

小笠原 将太郎

夏が終わり秋の涼しさを感じる季節となりました。まだ昼間の気温が高い日が続いています。朝晩との温度差により体調を壊されないようご注意ください。
今年の冬にはスキー場が3年ぶりに再開されます。ゲレンデに笑顔と笑い声が戻ってきます。日本最南端、宮崎県唯一のスキー場であり、わが町の宝でもあります。是非、町民の皆様の力と知恵を集結させて、盛り上げていきましょう。
私たち議会も五ヶ瀬町のために力を合わせて参ります。
今後とも、町民の皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

編集後記